



生活環境を守る仕事で 未来をつくる

～伝えたい！環境技術職員の魅力～



環境技術職ってなんだろう？

化学の知識を活かし、生活環境を守るプロフェッショナルとして働いています。

環境分野

- 公害対策(大気・水質・土壌汚染防止、騒音・振動対策など)
- 産業廃棄物対策(適正処理、資源循環施策の推進など)
- 地球温暖化対策(脱炭素施策の企画・推進など)
- 課題解決に資する調査研究、環境教育の企画・実施 など

工業保安

- 高圧ガス、火薬類の保安

水道分野

- 県営水道の維持管理、運営

そのほか

- 水源環境保全施策の推進、流域下水道事業 などなど



職員に話を聞いてみました

平成24年度入庁

氏名(職名): 田澤 慧(主査)

これまで経験した所属

- ・脱炭素戦略本部室事業者脱炭素グループ(現所属)
- ・環境科学センター環境活動推進課
(神奈川県気候変動適応センター)
- ・工業保安課(現消防保安課)コンビナートグループ
- ・湘南地域県政総合センター環境調整課



①担当業務を教えてください(令和8年3月現在)

県内事業者の脱炭素化を後押しするため、中小企業が自社のCO2排出量を「見える化」し、削減に取り組むための支援事業を担当しています。また、県庁自身も一事業者として率先してCO2削減に取り組むため、使用する電力を再生可能エネルギー電気に切り替える調整やとりまとめも行っています。

②県職員になろうと思ったきっかけは?

子どもの頃から、環境問題の解決に貢献できる仕事に就きたいと思っていました。そして、仕事にするなら、知らない場所ではなく、自分の地元である神奈川の環境を守る仕事がしたいと考えたことが、県職員を目指すこととしたきっかけです。

③やりがいを感じるのはどんなところ(とき)ですか。

担当事業を活用してくれた事業者さんに、「CO2削減に向けて役立った」と言ってもらえると、温暖化防止に微力ながらも貢献できたと思えて、やりがいを感じます。また、取り組まなければならない課題や問題に対して、法令や類似する事例など様々な情報を集め、整理することで、対応をうまくまとめられたときは、仕事が楽しいと感じます。

④県職員になって良かったと思うことは?

仕事面では、自分にとってまったく新しい分野を担当させてもらい、自分のライフワークと思えるだけの専門性を身につけられたことです。職場環境の面では、テレワークや時差出勤などが活用しやすく、比較的柔軟な働き方ができるので、子育て世代としてとても助かっています。

⑤県職員を目指す方、興味をお持ちの方へのメッセージ

環境技術職は、地域にねざした視点で環境に携わる仕事ができる、やりがいのある仕事です。気候変動をはじめ、様々な環境問題から私たちの命や暮らしを守るために、一緒に働いてみませんか？



事業者との協定締結式の運営

神奈川県
令和7年度 中小企業CO2排出量管理システム導入支援事業

田澤 慧

かながわCO₂見える化トライアル Webセミナー (第2回)

2026年3月3日(火) 13:30 ~ 14:45
神奈川県 環境農政局 脱炭素戦略本部室

かながわ県政
環境農政局
脱炭素戦略本部室

オンラインセミナーの講師

職員に話を聞いてみました

令和6年度入庁

氏名(職名):横関 美咲(技師)

これまで経験した所属

・環境課水環境グループ(現所属)



①担当業務を教えてください(令和8年3月現在)

水質汚濁防止法という、河川・海・湖沼・地下水といった水環境の保全を目的とした法律に基づき、河川などの水質調査計画の策定や、水質事故発生時の対応・未然防止などを担当しています。

②県職員になろうと思ったきっかけは？

公務員は利益の有無に関わらず課題に取り組むことができ、誰ひとり取り残すことなく手を差し伸べられることに魅力を感じたためです。その中でも神奈川県を選んだ理由は、都市部・観光地・豊かな自然・海といった様々な環境があることで、それぞれが抱える課題があるのではないかと考え、多角的に環境課題に取り組めることに魅力を感じたためです。

③やりがいを感じるのはどんなところ(とき)ですか。

県民の方からお問合せがあった際に、「丁寧に説明してくれてありがとう」、「すぐに解決してくれて助かりました」といったお言葉をいただけたときです。お問合せの中には技術的なお話しもあり、回答に悩むこともありますが、先輩などに相談しながら、協力して解決しています。

④県職員になって良かったと思うことは？

時間があるなど、仕事以外も充実させることができます。公私ともに充実させられる環境があることです。前述のようなやりがいを感じられることはもちろん、有給休暇を活用してゆっくりと旅行に行くことができたり、平日も、帰宅してから自主的な勉強にあてる時間があるなど、仕事以外も充実させることができます。

⑤県職員を目指す方、興味をお持ちの方へのメッセージ

私のように、様々な環境に関する課題に取り組みたいと思った方も、神奈川県で生まれ育ち、慣れ親しんだ環境を守りたい方も、ぜひ私たちと一緒に神奈川の環境保全に取り組みましょう！皆様とお会いできることを楽しみにしております。



水質事故連絡担当者会議を主催



「夏休み多摩川教室」にて、
他課と共同で「ミニ水族館」を運営

職員に話を聞いてみました

平成31年度(令和元年)入庁
氏名(職名): 石井 達也(技師)

これまで経験した所属

- ・横須賀三浦地域県政総合センター環境課(現所属)
- ・資源循環推進課横須賀駐在事務所
- ・工業保安課(現消防保安課)コンビナートグループ



①担当業務を教えてください(令和8年3月現在)

廃棄物処理法及び公害関係法令に基づき、事業者への指導や不法投棄などの不適正処理防止対策(パトロール等)を行っています。

②県職員になろうと思ったきっかけは?

環境関係のテーマに興味があったことと自分の出身地で仕事ができることから県職員になろうと思いました。

③やりがいを感じるのはどんなところ(とき)ですか。

過去担当した事業所の方から「申請、検査時等での保安管理に関する指導が勉強になり、現在の礎になっている。」旨のメールをいただいたことがあり、事業者がより“安全”を意識するようになったことに指導の甲斐があったと感じました。

④県職員になって良かったと思うことは?

仕事面は、事業所の検査などで様々な技術や設備に触れる機会がある点です。プライベート面は、休暇を取得しやすく、仕事と趣味のバランスを取りやすい環境が整えられている点です。

⑤県職員を目指す方、興味をお持ちの方へのメッセージ

環境技術職の仕事は、廃棄物や公害に関連した県民生活の安全を守る大事な仕事になります。環境関係に興味をお持ちの方、また、今現在環境関係に携わっていないけれども知識・経験を活かしたいと思った方、ぜひ県職員を目指してもらえればと思います。



不法投棄現場



アスベスト(石綿)の養生検査



焼却施設における焼却灰のサンプリング

職員に話を聞いてみました

平成25年度入庁

氏名(職名): 佐藤 真優(主査)

これまで経験した所属

- ・県央地域県政総合センター環境保全課(現所属)
- ・湘南地域県政総合センター環境調整課
- ・横須賀三浦地域県政総合センター環境課
- ・水源環境保全課水質保全グループ
- ・湘南地域県政総合センター環境保全課



(佐藤主査)

①担当業務を教えてください(令和8年3月現在)

高圧ガスを扱っている事業者において、安全が確保され、災害が発生しないよう、高圧ガス保安法の規制に基づいて指導を行っています。扱う高圧ガスの種類や量、高圧ガスを使用する設備は事業者によって様々で、それぞれに対応した指導が求められます。

②県職員になろうと思ったきっかけは？

工学系大学院修了後に別地方の民間企業へ就職しましたが、長く住んでいて馴染みのある神奈川県で自分の学んだことを生かせる仕事に就きたいと思い、転職しました。

③やりがいを感じるのはどんなところ(とき)ですか。

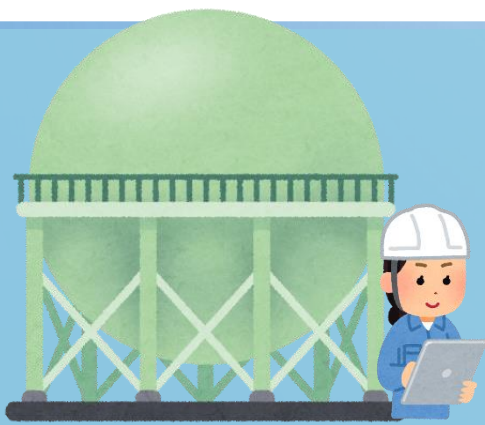
相談してきた事業者が考えている懸念点を読み取り、その点について県職員の立場として法令にのっとって適切な助言を行い、その後の手続きなどがスムーズに進んだ時、相手方と通じ合えたような気がしてやりがいを感じます。

④県職員になって良かったと思うことは？

各所属で各法令に基づいた指導を行うため、幅広い種類の事業者と接することができ、県内の事業者の多様さに視野が広がります。また、お休みも比較的取りやすく、拡大時差出勤などの制度もあるため、柔軟な働き方ができ、プライベートの予定も立てやすいです。

⑤県職員を目指す方、興味をお持ちの方へのメッセージ

県職員に興味を持っていただきありがとうございます。法律を理解するのは難しいところもありますがやりがいもあり、また働きやすい職場だと思います。ぜひ一緒に、神奈川県の実環境や県民の生活を守る仕事をしてみませんか？



職員に話を聞いてみました

令和2年度入庁

氏名(職名): 渡辺 基生(技師)

これまで経験した所属

- ・湘南地域県政総合センター環境保全課(現所属)
- ・資源循環推進課指導グループ



①担当業務を教えてください(令和8年3月現在)

現在、私は湘南地域管内の公害法令に係る業務を担当する班に所属しています。ひとえに「公害」と言っても、その内容は幅広く、大気から水質、土壌、化学物質関係等、様々な視点から公害防止のために、日々事業者対応にあたっています。具体的には、事業者から提出される申請書や届出書の内容審査を行ったり、実際に工場等へ立入検査を行ったりしています。審査や立入検査を実施する中で、必要な対応を事業者に求めたり、法令順守のための指導を行ったりしています。また、県民の方からの通報や市町からの連絡を受け、事故が発生している河川や工事現場等に現地確認や対応に向かうこともあります。

②県職員になろうと思ったきっかけは?

元々、小学生の頃から環境問題に興味関心があり、何か環境に関われるような仕事をしてみたいという漠然とした気持ちがずっとありました。実際にどんな仕事をしたいかを考えたときに、環境問題に広く関わることのできる県職員の仕事が自分には合っているのではないかと思い、この仕事を選びました。中でも神奈川県は他自治体以上に都市部と自然環境の共存が特徴的だと感じ、興味を惹かれました。

③やりがいを感じるのはどんなところ(とき)ですか。

公務員の場合、民間企業以上に、多角的な知識や視点を求められることが多いと思います。そのような中で、適法性を踏まえながら、事業者のために分かりやすく適切な内容をどのように伝達、指導するかを考えることが多いですが、相手に上手く自分の意図を伝えられて対応ができたときは、達成感を感じます。また、公務員という性質上どうしても事務的・法律的な仕事も多いですが、そのような中でも環境技術職として科学的な知見を組み合わせ上手く思考して行動に移せたときには、やりがいを感じられます。

④県職員になって良かったと思うことは?

自分が元々興味を持っていた環境問題を、行政や事業者という立場や法律的観点等様々な角度から理解を深めることができたのは、この仕事の良さかなと思います。日々様々な立場の職員や事業者とやり取りすることが多いですが、元々人と関わることも好きだったので、人との繋がりを感じられるのも楽しさの1つだと思います。また、働きやすさという点でも、神奈川県庁は近年より力を入れていて、休みたいときはしっかりと休めますし、職員個人ではなくチームで課題解決をしていこうという機運も高まってきているように思います。

私事ですが、第一子が誕生した際にも、職場の方々の協力もあってスムーズに育休を取得することができました。育休については他の職員の方々も積極的に取得されていて、働きやすい環境だなと感じます。

⑤県職員を目指す方、興味をお持ちの方へのメッセージ

自治体職員という、お役所仕事で固いイメージがあるかもしれませんが、実際は、人と関わり合いながら、様々な現場で体を動かすことも多く、学びを多く感じられる仕事です。一民間企業の中ではなかなか関わることのできない多種多様な知見や業界等を日々の業務の中で感じることができるのは、他の職業にはない魅力だと思います。特に神奈川県は、全国的にも先んじて公害防止の条例を制定したという歴史もありつつ、現在も環境への事業に積極的に取り組んでいます。今の自身の専門分野に捉われ過ぎる必要はありません(私自身、農学部出身で化学専攻というわけではありませんでした)。環境に興味がある!という方は是非、神奈川県環境技術職を目指していただければ嬉しいです。



水質事故が発生し白濁した河川



建屋解体現場の立入検査(石綿)



事業者対象の研修会で講師をする様子

職員に話を聞いてみました

平成26年度入庁

氏名(職名):米山 翔太(主査)

これまで経験した所属

- ・環境科学センター環境活動推進課(現所属)
(神奈川県気候変動適応センター)
- ・水源環境保全課水源企画グループ
- ・県央地域県政総合センター環境部
環境調整課、環境保全課
- ・廃棄物指導課(現資源循環推進課)指導グループ



①担当業務を教えてください(令和8年3月現在)

神奈川県における、地球温暖化などの気候変動による影響や影響への対策について、情報の収集・整理及び分析を行い、情報発信しています。最近では、都市化の影響も含めた暑さに関する内容が多く、気温や暑さ指数の測定、県民参加型の調査などを実施しています。

②県職員になろうと思ったきっかけは？

大学・大学院で専攻した化学を活かしつつ、行政や研究といった様々な仕事を通じて、地元である神奈川県に貢献できるスペシャリストを目指せると思ったからです。

③やりがいを感じるのはどんなところ(とき)ですか。

分析・測定といった科学分野、環境法や行政法、経済など広範な知識を駆使し、企画調整しながら取組んだ結果、環境や県民生活に寄与できたと感じる時です。県民の方に気候変動対策に少しでも興味を持ってもらい、自分ごととして捉えていただけると嬉しいです。

④県職員になって良かったと思うことは？

神奈川県内の取組み・魅力を知る機会が多いです。現所属では大雨の際は遊水地になる公園や高温に強い農作物の推進、前職場では水源地域の施策・活性化といった、地元といえど今まで知らなかった取組み・魅力を知れたのは県職員ならではの楽しみです。

⑤県職員を目指す方、興味をお持ちの方へのメッセージ

環境技術職の仕事は多分野に渡っており、色んなことに挑戦できる職種です。私以外の環境技術職員のページもご覧いただき、面白そう！と思ったら是非、一緒に働きましょう！



小学生に解説



暑さ指数の測定・表示



イベントでの展示

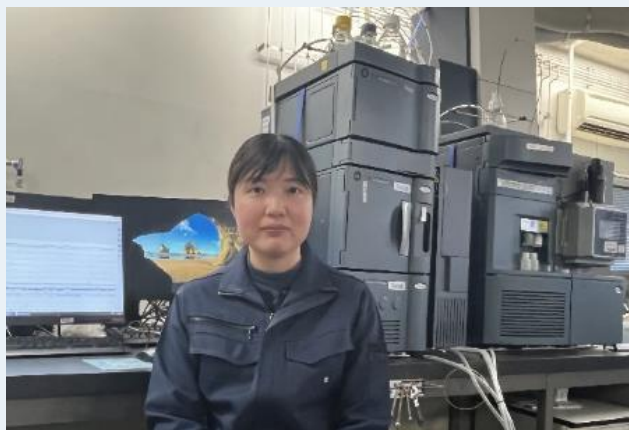
職員に話を聞いてみました

令和3年度入庁

氏名(職名):長嶋 桃子(技師)

これまで経験した所属

- ・環境科学センター 調査研究部(現在)、
環境活動推進課



①担当業務を教えてください(令和8年3月現在)

環境水や工場事業場の排水中の化学物質の分析、PFASに関する調査研究、PM2.5 やアスベストなどの採取を担当しています。

②県職員になろうと思ったきっかけは?

前職への就職を機に故郷の神奈川を初めて離れた際、それまで気付かなかった神奈川の良さや抱えている問題などが見えてきて、関心のあった環境分野で故郷に貢献できる仕事をしたいと思ったからです。

③やりがいを感じるのはどんなところ(とき)ですか。

技術を生かして地域貢献できるところです。特に現所属では環境分析が主な業務となりますが、行政という立場でこれまで学んできたことや身につけてきた技術を生かして分析を行い、実態を把握し対策等につなげることで県民の健康や環境を守ることができる点にやりがいを感じます。

④県職員になって良かったと思うことは?

神奈川県は自然豊かな地域、都市部、工業地帯など多様な環境があるので、様々な業務を幅広く経験できることです。また、時差出勤やテレワークなどの制度があることも働きやすく、県職員になって良かったと思う点です。

⑤県職員を目指す方、興味をお持ちの方へのメッセージ

環境分野に関心があり、地域貢献したいと考えている方におすすめできる仕事です。一緒に働けたら嬉しいです。



農薬等を分析する装置



PM2.5のイオン成分等を分析する装置



アスベスト採取の様子

今日も環境について考え、行動しています

○水質事故(油浮遊など)対応



油を吸着するオイルマットの設置

○PM2.5成分分析



○廃棄物運搬車両の検査



○環境影響評価審査会の運営



○高圧ガス保安訓練の様子



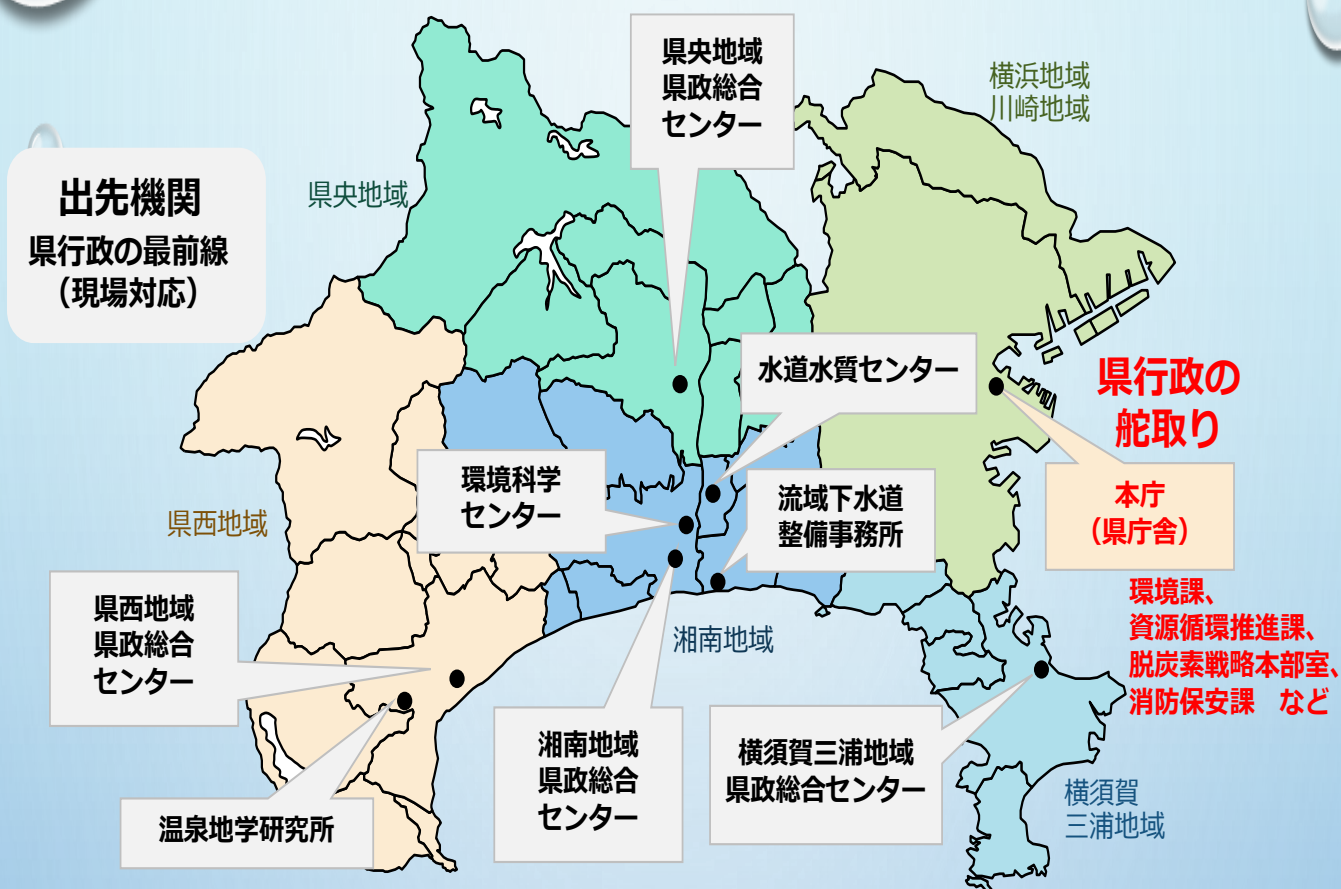
○河川水質検査



○高圧ガスタンクローリー検査



主な勤務地



オンライン相談会、県庁体験プログラムなども随時実施しています。実施予定などを御案内しますので、興味のある方は是非御参加ください。

・神奈川県採用情報(県ホームページ)

<https://www.pref.kanagawa.jp/osirase/9111/index.html>

問合せ先

神奈川県環境農政局環境部環境課
☎045-210-4185(直通)